

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術Ⅲ	3	3年1組

1 使用教材

使用教科書	美術3
出版社	光村図書
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

1 幅広い芸術活動を通して、個性豊かな能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
2 美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
3 友達の作品のよさや美しさを味わい、お互いを認め、尊重し合う。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 美術への 関心・意欲・態度	美術の創造的活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に感心をもち、主体的に表現や観賞の創造活動に取り組もうとする。
② 発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や美しさなどから主観を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
③ 創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。
④ 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

観点 評価方法	観点				備考
	①	②	③	④	
学習状況の観察	A	A	A	A	授業態度、道具の取り扱い、発言内容など
プリントの内容	A	A	B	B	記述内容、課題目標の達成度、期限の厳守など
作品	B	B	A	C	目標の達成度、作品としての完成度など

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>オリエンテーション 「社会に開かれる美術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドワーク ・ ロックバランスング ・ 写真撮影 <p>「自然の力を生かして」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーグラスアート <p>「安心をつくるデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽美術共同制作 ・ 舞台美術 ・ 舞台設営 ・ 舞台演技と演出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術で学習したことを社会でどのように生かすか、自分なりに考える。 ・ 校外を散策し、五感を使って四季の移ろいや自然物の造形美を感じ取る。 ・ 自然物に直接触れて感じたことを、立体的かつ空間的に表現する。 ・ シーグラスのできる過程を理科的・社会的に理解し。造形的な美しさを生かし作品を制作する。 ・ 保育園児を対象とした劇の舞台美術を行い、より効果的に劇を作り上げる。 ・ 音楽Ⅲ選択生と協働して、舞台の世界観や色彩イメージを明確にし、1本の劇作品を作り上げる。
2 学期	<p>「私のいる世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を見つめなおす ・ テクスチャーアート ・ マテリアル理解 ・ 抽象表現 <p>「生命のサイクル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴーギャンの問い ・ デジタルアート <p>「ひびき合うイメージ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インスタレーション ・ 光や風による変化 <p>「自然との共生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドワーク ・ バードハウス ・ 鑑賞 <p>「鉛筆の可能性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉛筆表現の応用 ・ 細密描写 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで取り組んできた課題を振り返り、自分の表現の特徴や傾向を分析する。 ・ テクスチャーアートで使用するモデリングペーストやジェルメディウムについて、基本的な扱い方や可能な表現を理解する。 ・ ゴーギャンの作品から作者のメッセージを感じ取り、自分なりに問いの答えを追及する。 ・ ICT機器を活用し、画像編集の基本的な技能を身に付ける。 ・ 日用品を素材として捉え、空間と調和する作品を制作する。 ・ 自然の生み出す光や風による作品の美しさやおもしろさを感じ取る。 ・ 豊かな自然の中で生きる動植物を観察する。 ・ 自然に調和するバードハウスを制作する。 ・ バードハウスを設置して、その後の経過を観察する。 ・ これまで学習してきた鉛筆表現を振り返り、応用して鉛筆表現の幅を広げる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物クロッキー ・ 静物画 ・ 鑑賞 <p>振り返りとまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を区切ってクロッキーをすることで、短時間で集中して制作に取り組む姿勢を身に付ける。 ・ 身の回りにある物を鉛筆で表現することで、普段とは異なる視点を持つ。 ・ 高校美術で取り組んだ活動や気づきをクラスメイトと共有し、より深い学びや気づきにつなげる。